

# 高次脳機能障害講演会

## 医療と連携、 リハビリから就労へ

2018年 11月4日[日] 午後1時～4時

大阪YMCA会館・ホール 大阪市西区土佐堀1-5-6 (電話06-6441-0893)

■定員 / 300人 (先着順) ■参加費 / 1人 1,000円 (当日会場で)

主催 社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団

後援 NPO法人 日本脳外傷友の会 / 頭部外傷や病気による後遺症をもつ若者と家族の会 / NPO法人 大阪脳損傷者サポートセンター  
堺脳損傷協会 / 豊中脳損傷家族会「アンダンテ」 / 公益財団法人 大同生命厚生事業団

高次脳機能障害の人たちにとって、医療と福祉の連携は不可欠です。

高次脳機能障害の原因となる脳卒中になったり、交通事故などに遭ったりすると、多くの場合救急病院に搬送され治療を受け、容体が安定したらリハビリ病院に転院し、退院後も日常の中でリハビリを続けることになります。

さらに就労に向けた訓練と、途切れることのない支援が必要です。

地域の中で、医療と福祉がどのように連携し、リハビリから就労へつないでいくのかを探ります。

# 「医療と連携、リハビリから就労へ」 プログラム

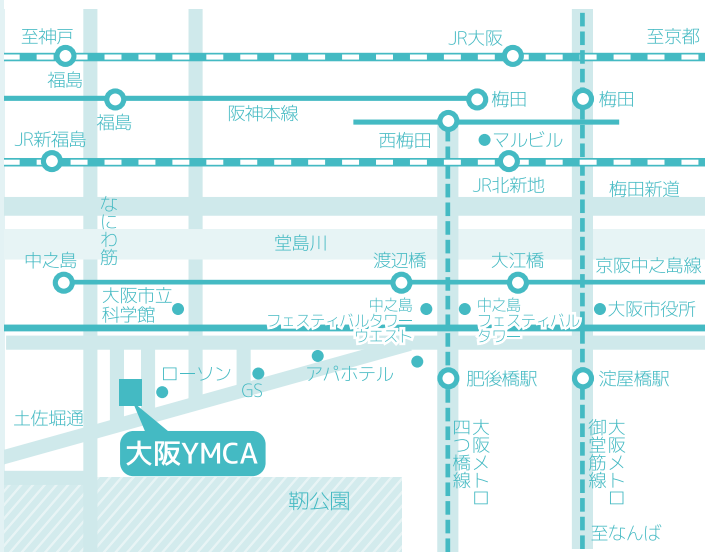
- 13:00-14:00 基調講演  
**「高次脳機能障害支援の  
国の動き、医療と連携」**  
深津 玲子さん
- 
- 14:00-14:30 てい談「上を向いて歩こう」  
白井 伊三雄さん、妻・京子さん / 橋本 圭司さん  
休憩
- 
- 14:45-16:00 シンポジウム  
**「医療と連携、リハビリから就労へ」**  
橋本 圭司さん（コーディネーター）  
納谷 敦夫さん 野々垣 睦美さん 濱田 和秀さん  
深津 玲子さん（オブザーバー）

.....

しらい いさお  
**白井 伊三雄さん**  
高次脳機能障害当事者

1956年、大阪府大東市生まれ。2007年脳動脈血栓症で、仕事に倒れる。一命はとりとめたものの、記憶力が損なわれる重度の高次脳機能障害を負う。リハビリのため転院を繰り返すなか、2011年7月、自力で歩き、簡単な会話ができるまでに回復し、自宅に戻る。就寝中、突然目を覚まし寝室から出て行ったり、一日中大声を出したりと奇行が続くが、突然、口笛で「知床旅情」を吹き、家族を驚かせる。2017年、大東市で開催された「口笛コンサート」に飛び入りで参加。それがきっかけで、白井さんのSをとった「プロジェクトS」が始動し、CDを制作、2018年3月、コンサートも開催した。

■交通アクセス 大阪メトロ四つ橋線「肥後橋」駅3号出口から徒歩5分  
大阪メトロ御堂筋線「淀屋橋」駅4号出口から徒歩12分  
京阪本線・中之島線「渡辺橋」駅7番出口から徒歩11分



## 申込方法

参加希望のすべての方の ①お名前（ふりがな）②〒・住所 ③TEL・FAX ④職業を明記の上、下記までFAXかほかき、メールのいずれかでお申し込みください。  
ホームページからも申し込みができます。  
申し込み受け付け後、聴講券をお送りします。参加費（1,000円）は、当日会場でお支払いください。

## 講師・パネラーのご紹介

ふかつ れいこ  
**深津 玲子さん**

国立障害者リハビリテーションセンター企画・情報部  
高次脳機能障害情報・支援センター長

東北大学医学部を卒業後、同大神経内科入局。宮城病院神経内科部長などを経て2006年より国立障害者リハビリテーションセンター勤務。現在同センター学院長、高次脳機能障害情報・支援センター長。東北大学医学部高次脳機能障害科担当臨床教授

はしもと けいじ  
**橋本 圭司さん**

はしもとクリニック経堂院長

1998年東京慈恵会医科大学卒業。東京都リハビリテーション病院、神奈川リハビリテーション病院、慈恵医大病院などで数多くの高次脳機能障害の治療を経験。07年東京医科歯科大学准教授、09年国立成育医療研究センターリハビリテーション科医長、16年はしもとクリニック経堂院長、17年千葉大学客員教授

なや あつお  
**納谷 敦夫さん**

なやクリニック高次脳機能障害担当医

1972年大阪大学医学部卒。大学での臨床研修後、民間病院などを経て78年エディンバラ大学医学部精神科で臨床研修を行う。80年大阪府立中宮病院を経て、86年大阪府庁に入り、精神保健、医療、保健福祉などを担当。健康福祉部長時代に高次脳機能障害モデル事業を大阪府で実施。大阪府の総合病院にリハビリテーション部、障害者自立センターなどの創設に尽力。2007年より、大阪府堺市で、なやクリニック高次脳機能外来を開設。08年高次脳機能障害のグループリハビリテーションを開設。12年高次脳機能障害者のためのグループホーム創設に尽力。17年全国に先駆け高次脳機能障害者のための生活介護施設を創設。

の の がき むつみ  
**野々垣 睦美さん**

クラブハウスすてっぷなな統括所長

1996年国立療養所箱根病院附属リハビリテーション学院作業療法学科卒業。同年神奈川県総合リハビリテーションセンター入職。2004年神奈川県総合リハビリテーションセンター退職。04年4月クラブハウスすてっぷなな所長（現：特定非営利活動法人脳外傷友の会ナナ・クラブハウスすてっぷなな）。12年クラブハウスすてっぷなな統括所長

はまだ かずひで  
**濱田 和秀さん**

特定非営利活動法人 クロスジョブ代表理事

1981年大阪府障害者福祉事業団に入職。知的障害児の入所施設での生活支援を皮きりに、成人施設での生活支援を経て、授産施設に異動。就労支援に携わる中、ジョブコーチ支援の啓発、確立に取り組む。「施設から地域へ」と障害福祉サービスの転換期に入って、地域移行支援、グループホームの開設に関わりながら、その後、事業団初の就労移行支援事業に取り組み、初めて高次脳機能障害のある方の就労支援に携わる。2010年事業団を退職し、就労移行支援事業所のみを運営するNPO法人クロスジョブを設立。高次脳機能障害のある方の一般就労支援を本格的に開始。現在、全国7箇所事業所を展開。全事業所で高次脳機能障害の方がこれまでに74人が利用し、46人が就職、現在も就業中の方は41人、定着率は89%と高い。大阪では、高次脳機能障害のある方の就労支援勉強会の開催など、各事業所が地域の高次脳機能障害者支援ネットワークづくりに参画している。

## 申込先 / お問い合わせは

〒530-8211 大阪市北区中之島2-3-18  
朝日新聞厚生文化事業団「高次脳」係  
Tel.06-6201-8008 Fax.06-6231-3004  
E-mail: kojinou-o@asahi-welfare.or.jp  
<http://www.asahi-welfare.or.jp/>